

て適切な措置をとるよう指示したが、医学部教授総会は両教授に對して辞職勧告を行なう件について意志決定をすることができなかった。そこで三月一四日の東大評議会が「さきに表明された辞意を速やかに実現されることが至当である」という見解を決議してこの問題に終止符を打った。しかし、豊川・上田両教授は遂に辞職しなかつた。

一四、医学部確認書

昭和四三年一月三日に新たに選出された白木医学部長は、東大医学部紛争を終結させるため就任早々共闘系学生と折衝を始めたが、成功しなかつた。一方、一二月二四日、民青系学生が中心となつて医学科学生大会が開かれ、学生代表が選出されたので、医学部教授会はこれらの代表と折衝を開始し、加藤総長代行の締結した「七学部（医学部など三学部が含まれていない）確認書」に立脚して「医学部集会」を行なうこととなつた。昭和四四年一月二六日に行なわれたこの集会は、反対派学生の乱入によつて中断されたが、その後代表団交渉により「医学部合意書」が締結され、二月三日の医学科学生大会はこれを承認して一年ぶりでストを解除した。しかし一部学生はなおストを継続していたので授業再開にはなお至らなかつた。

一五、正常化

昭和四四年四月一日に就任した中井医学部長は、授業再開に反對する学生・医局員などの数回にわたる折衝を経て、五月二八日、一六カ月ぶりで医学部授業を再開し、これによつて一応東大医学部紛争は終結し、正常化が達成された。しかし、その後もな

お東大病院を中心に紛争の余波は続いた。

正誤表

三十一卷四号 小関恒雄著

「法医学」なる語はいつ頃から使われたか

頁数	行	数	誤↓正
五二九	後・三行		ここに↓ここに
五三四	後・二行		consistents→constituents

第三十一卷四号 例会講演要旨 横川弘藏

日本医学校と女性医師の先駆者たち

頁数	行	数	誤↓正
五八二	下段右より八行		耳鼻喉咽科↓耳鼻咽喉科
五八三	上段右より六行		咽喉科 名簿↓女医名簿 女医に日本女医五十年史に↓日本女医五十年史を 生澤久及↓生澤久乃
	右より七行		昭和三十四年十月
	右より十行		↓昭和三十年四月十日